

平成30年度 議会事務局 方針書

議会事務局長 佐藤 雅義

1. 議会事務局の使命（役割）

議会事務局は、議会の補助機関として次のことを使命とします。

- ①議会の「力」（地方自治体としての意思決定、執行機関の監視・評価、議会側からの政策提案など）が十分に発揮され、円滑な議会運営が図られるよう議員の職務を補佐すること。
- ②議会の「力」を高めるため、議会と市民の連携構築をサポートすること。

2. 平成30年度における課題（前年度の振り返りから）

- ①市民から「親しみやすく頼れる議会」「説明責任を果たしている議会」と言われ続けるため、より一層の取り組みの強化が求められます。このため、議会報告会の充実はもとより、市民との懇談会の開催など市民と議会をつなぐ多様な取り組みの展開が課題となります。
- ②議会基本条例の目標実現に向けた支援及びその進捗状況を検証し、改革し続けるため、各課題解決へ向けた取り組みや政策法務能力等、事務局職員の更なる能力向上が求められています。

3. 平成30年度の『スローガン』

政策論議の活発化を下支えしよう。

4. 年度目標となる方針（目標）

- ①情報収集・情報発信及び効率的な議会運営のため、ICT機器を積極的に活用します。
- ②市民の関心を集め、注目される、より開かれた議会を目指します。
- ③議会と行政及び議会と市民のつなぎ役として、議員の政務秘書として、議会事務局のスキルアップを図ります。

5. 重点取組項目

| | | |
|-----|------|---|
| (1) | 項目 | 情報収集・情報発信及び効率的な議会運営のため、ICT機器を積極的に活用します。 |
| | 取組内容 | ・タブレット端末の活用の円滑化により議員活動をサポートし、議会改革の推進を支援します。 ・議会だより、横手かまくらFM、インターネット、フェイスブック等を活用した情報発信など広報活動の充実を図ります。 |
| (2) | 項目 | 市民の関心を集め、注目される、より開かれた議会を目指します。 |
| | 取組内容 | ・「議会報告会」など広聴活動の強化に努めながら、議会と市民の直接的な意見交換の場の充実を支援します。 ・市民の意見を把握し、議会で議論する仕組みとして、「市民と議会の懇談会」の開催を支援します。 |
| (3) | 項目 | 議会と行政及び議会と市民のつなぎ役として、議員の政務秘書として、議会事務局のスキルアップを図ります。 |
| | 取組内容 | ・先進議会の事例を研究し、議会運営の効率化を目指します。 ・全国の自治体から行政視察を積極的に受け入れ、自らの研鑽と市内消費拡大につなげます。 ・他市議会事務局との合同研修や研修機関の専門研修に参加し、スキルアップを図ります。 |

6. 方針に対する年度上期（4月～9月）の取組みの状況 【現状】

- ・導入から2年を経過し、タブレットの更新を行いました。上期には、災害発生時の安否情報や画像の送信訓練を行い、活用の範囲が広がっています。議会だより等による情報発信についても、予定どおり実施済みです。特にフェイスブックについては、ほぼ毎日内容の更新を行っています。
- ・10月から実施する議会報告会については、これまで以上に市民との意見交換を充実させ、議会からの政策提言に反映させるべく準備を整えたところです。
- ・議会改革については、先進団体に学びながら、議会基本条例をより実効性のあるものへと取り組んでいます。また、当局から提示された機構再編など政策課題について、グループワークによる論点整理を重ねながら当局との意見交換の準備を進めています。

7. 年度下期（10月～3月）に向けた課題と取組みの方針【ギャップと対策】

- ・情報発信、情報伝達については、より確実かつ広範なものとなるよう習熟度を高める機会を作ります。
- ・全市24か所で実施予定の議会報告会の成果を政策提言に反映するため、事務局として調整役の役割を果たしたいと考えます。
- ・当局から提示された政策課題について、議会内の話し合いを深め、当局と実りある意見交換ができるようサポートに努めます。

8. 総括 取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】

(1) 情報収集・情報発信及び効率的な議会運営のため、ICT機器を積極的に活用

今年度、タブレットの更新を行ったが、年々取り扱う情報量と活用頻度が増え習熟度も高まっていることから、議員活動になくてはならないものになっています。但し、提供する情報が過多となり、大事な情報が見過ごされることがないように気を付ける必要があります。フェイスブックによる情報発信については、引き続き新鮮な情報をより早くを念頭に継続します。

(2) 市民の関心を集め、注目される、より開かれた議会

議会報告会やY8サミットの開催、議会だよりの発行により、市民に議会の存在をアピールし活動内容を紹介してきました。また、重要な政策課題に対しては、議員間討議を行い政策論議を深める努力をしてきたところです。今後もこうした活動を強化して、市民に議会を分かりやすく伝える必要があります。

(3) 議会事務局職員のスキルアップ

各種研修への参加や毎月の事務局内での勉強会を通じて、スキルアップに努めてきました。特に議会改革については、議員の方々に先んじて勉強と情報収集が必要です。